

英語科からのお知らせ

去る11月16日(土)、高1・2年生向けの大学入試説明会を実施しました。ご参加いただきました保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

この説明会では、代ゼミからお招きした山根先生から、センター試験と現高2生が受ける大学入試共通テスト(以下「共通テスト」)の違いなど、大変有益な情報を多くいただきました。

この共通テスト導入にあたり、昨年、試行調査が実施されましたので、センター試験とその試行調査との違い、およびその対策を説明させていただきます。



【リスニング編】

① リスニングの比重が大きくなる	センター	リスニング 50 点、リーディング (筆記) 200 点
	共通テスト	リスニング 100 点、リーディング (筆記) 100 点
② 問題文等読み上げの回数が変わる	センター	すべて 2 回読み上げ
	共通テスト	1 回読みと 2 回読みが混在する
③ 読み上げ者が変わる	センター	教材的な聞きなれた英語
	共通テスト	英語を母語としない読み上げ者が含まれる

上記の表より比重が高くなるだけでなく、難易度も上がるため、リスニング対策を早期に始める必要があります。高校生におススメするのは以下の通りです。

始める時期は？	耳は一朝一夕には慣れないので、 今すぐ 始めてください。
聞くタイミングと頻度は？	学校に行く前、帰宅後、夕食後、寝る前など、どのタイミングでも構いませんが 必ず「毎日15分間やる」 です。

何を聞いたらよいか？

- テレビのNHK 総合やBS の二か国語放送
 - NHK ラジオの語学講座
 - 携帯アプリ
 - CS の専門チャンネル (BBC や CNN ※上級者向け)
- (・耳を慣らすという意味では洋楽を聞くのもいいです。ただし、耳が慣れたら問題形式のリスニングに移行する必要があります)
- (・海外ドラマや映画の字幕版を見るのも一つの方法ではありますが、ストーリーそのものに引き込まれ勉強が疎かになる恐れがあるのであまりお勧めしません)

※**注意！！**→まとめて週に1回1時間聞くのは効果がないのでダメです。**短時間を毎日繰り返すことがなによりも重要**です。“食後の歯磨き”と同じように**習慣化**させましょう。リスニングは、ただ聞き取る力を上げるだけでなく、**英作力や文法力、スピーキング力の向上にも役立ちます。**

【リーディング (筆記) 編】

発音・アクセント、文法、整序問題などがなくなり、 読解力を問う中文・長文のみ (2019年12月現在の情報)	⇒ 集中力 が必要
総語数が増える	⇒ 速読力 が必要
解答を複数選ぶ問題 が出題される	⇒ 正確さ が必要

読解が中心になるからと言って文法を軽視していいわけではありません。しっかりとした文法の基盤があってこそその読解力です。また、共通テストだけでなく二次試験も視野に入れた総合的な力をつけるために、新年度の**対面講座『受験総合英語 (講師:小玉左苗)』**ではまず文法の見直し・強化を行い、読解や英作指導にもつなげていきます。

★『速読英語』のご案内★

特に二次試験では、時間的余裕をもって解くことができている生徒のほうが少数派です。**時間的な余裕は心の余裕にもつながります。**

速読力を上げていくために、当塾では**『速読英語』**の講座もご用意しております。

ぜひ**裏面**のご案内をご覧ください、**12月中の体験受講を強くお勧めします。**

英語の重要性が今後さらに高まっていくことは必至です。高校生だけでなく小学生や中学生の保護者の方々にも現状を知っていただきたくまとめました。何かご不明な点があれば英語科担当講師まで。